

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●デアリングタクトが秋華賞を制して無敗のまま牝馬三冠を達成

10月18日(日)に行われた秋華賞(G I)では圧倒的1番人気に支持されたデアリングタクト(牝3歳/栗東・杉山晴紀厩舎)が優勝しました。これで同馬は新馬戦、エルフィンS(L)、桜花賞(G I)、優駿牝馬(オークス・G I)、そして秋華賞と、デビュー5連勝で牝馬三冠を達成。牝馬三冠は1986年メジロラモーヌ、2003年スティールインラブ、2010年アババネ、2012年ジェンティルドンナ、2018年アーモンドアイに次ぐ6頭目のこととなりますが、無敗での達成は史上初の快挙です。

●小牧太騎手がJRA通算900勝を達成

10月17日(土)の4回京都3日・第5レースではニホンピロマリブが1着となり、同馬に騎乗した小牧太騎手(栗東・フリー)は、史上48人目、現役では25人目となるJRA通算900勝(1万1360戦目)を達成しました。

●福永祐一騎手と松山弘平騎手がJRA年間100勝を達成

10月17日(土)の4回京都3日・第4レースではラッキーモーが1着となり、同馬に騎乗した福永祐一騎手(栗東・フリー)は、11年連続12回目となるJRA年間100勝を達成しました。翌18日(日)の4回京都4日・第12レースとして行われた平城京Sではベオースが1着となり、同馬に騎乗した松山弘平騎手(栗東・フリー)は、自身初となるJRA年間100勝を達成しました。本年はすでにC.ルメール騎手と川田将雅騎手が年間100勝を達成しており、福永騎手が3人目、松山騎手が4人目となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和の結果

2020ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和は10月21日に実施され、第1戦は菅原明良騎手(美浦)、第2戦は吉井章騎手(大井)が優勝しました。

●村上忍騎手(岩手)が地方競馬ジョッキーズCSに優勝

2020地方競馬ジョッキーズチャンピオンシップは、10月19日に盛岡で2レースのポイント制で争われ、村上忍騎手(岩手)が優勝。

●芝のジュニアGPはマツリダスティール【各地の主要2歳重賞】

ジュニアグランプリ(9月21日、盛岡、芝1600m)は、3番手を進んだ1番人気のマツリダスティール(牡、父エキストラエンド)が直線半ばで抜け出し、若鮎賞に次ぐ芝重賞2勝目をあげました。フローラルC(9月17日、門別、1600m、牝馬)は、中団から差を詰めた6番人気のブルーカルセドニー(父ディープリランテ)が、直線入口で先頭に立って押し切り重賞初制覇。新設重賞のゴールドジュニア(9月21日、大井、1400m)は、逃げた2番人気のアランパローズ(牡、父ヘニーヒューズ)が後続に2馬身半差を付け、無傷の3連勝を達成しました。イノセントC(9月24日、門別、1200m)は、中団から内を通過して位置取りを上げた単勝1.7倍で断然人気のリーチ(牡、父グランプリボス)が、ゴール前100mで差し切り勝ち。園田プリンセスC(9月24日、園田、1400m、牝馬)は、先手を取った単勝1.7倍で1番人気の北海道からの遠征馬ラジアントエンティ(父スマートファルコン)が5馬身差で圧勝。金沢プリンセスC(9月27日、金沢、1400m、牝馬)は、3番手から4コーナー手前で先頭に立ったサブノタマヒメ(父プリサイスエンド)が3馬身差の完勝、単勝1.6倍の支持に応えてデビュー以来の連勝を5に伸ばしています。※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1チャンピオンS～アデイブがG1・3勝目

4つのG1を含む5つの重賞をまとめて行う英チャンピオンズデーがイギリスのアスコット競馬場で10月17日に開催されました。そのメインとなるG1チャンピオンS(3歳上、芝1990m)を制したのはアデイブ(騾6歳、父ピヴォタル、W.ハガス厩舎)。T.マーカンド騎手を背に2馬身 $\frac{1}{2}$ 差で快勝して、今年前半にオーストラリアで制したランヴェットS、クイーンエリザベスS(ともに芝2000m)に続くG1・3勝目をあげました。なお、この日のG1英チャンピオンズプリントS(芝1200m)ではH.ドイル騎手(24歳)がグレンシール(騾6歳、父ピヴォタル)で優勝し、史上3人目となる女性騎手による英平地G1制覇を成し遂げています。

●G1コーフィールドC～ベリーエレガントが制す

10月17日にオーストラリアのコーフィールド競馬場で行われた、G1コーフィールドC(3歳上、芝2400m)はM.ザーラ騎手を背に中団でレースを進めたベリーエレガント(牝5歳、父ゼッド、C.ウォラー厩舎)が昨年の英ダービー馬アンソニーヴァンダイクの追い上げを0.2馬身退けて優勝。G1・6勝目をあげました。

●芝世界最高賞金のジエベレスト～クラシックレジェンドが優勝

芝のレースとしては世界最高賞金(総賞金1500万豪ドル=約11億4365万円/1ドル76円で換算)を誇るジエベレスト(3歳上、芝1200m)が10月17日にオーストラリアのランドウィック競馬場で行われ、K.マカヴォイ騎手騎乗のクラシックレジェンド(騾5歳、父ノットアシングルダウト、L.ブリッジ厩舎)が差し切り勝ちを収めました。